



2026年2月10日

(前年同月比：％)			2025年							2026年							通期
			7月	8月	9月	10月	11月	12月	上期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	下期	
ト ラ イ ア ル	既 存 店	売上高	101.4	98.3	99.8	101.7	105.5	99.8	101.0	105.6						105.6	101.6
		客数	97.5	94.6	95.6	97.8	100.0	97.6	97.1	100.1						100.1	97.5
		客単価	104.1	103.9	104.5	104.1	105.5	102.3	104.0	105.5						105.5	104.2
	全 店	売上高	111.9	108.1	109.1	110.1	113.7	107.7	110.0	113.4						113.4	110.5
		新規出店数	5	1	1	1	5	5	18	0						0	18
		閉店店舗数	0	0	1	0	1	1	3	0						0	3
		全店舗数	357	358	358	359	363	367	367	367						367	367
西 友	全 店	新規出店数	0	0	0	0	1	0	1	0						0	1
		閉店店舗数	0	0	1	0	1	0	2	0						0	2
		業態転換数 (西友⇒トライアル西友)	0	0	0	0	1	0	1	0						0	1
		全店舗数	245	245	244	244	244	244	244	244						244	244

(環境) 当月は降水量が少なく、冬晴れの日が続きました。一方、上旬と下旬は冷え込みが強まり、冬物季節商品の需要が高まりました。
休日(土曜日)が前年同月より1日多く、既存店売上高を約1.1pt押し上げました。初売り商戦は「生活必需品」として、福袋などの正月関連商品や生鮮を中心とする食品が売上高をけん引。
1月1日から4日までの年始4日間における既存店売上高は12.4%増となり、高い成長率を記録しました。幅広い品ぞろえがお客さまのご来店を喚起し、新たな年が力強くはじまりました。

(商品) 食品はグロスリーは、正月用のお餅や鍋つゆ、バックごはんが伸長しました。デイリーは、玉子や納豆といった定番商品、ウインナーやサラダチキンなどの加工肉に加え、
3つの食感が楽しめる新作PB商品の菓子パン「カリっ？もちっ？サクっ？クイニーアマン？」が好調に推移しました。フレッシュは青果は、ほうれん草やじゃがいも、大根、
鮮魚は、寿司の盛り合わせや海鮮丼が寄与しました。精肉は、価値訴求のすき焼き・しゃぶしゃぶ用の牛肉、価格訴求の薄切りの豚肉や、鶏肉の切り身がお客さまの支持を得ました。
惣菜は、名物商品の「ロースかつ重」などの丼物やイベント用のオードブル、プリンやシュークリームなどのスイーツがプラスで推移しました。
非食品はハードは、毛布やファンヒーター、ソフトは、アパレルPB商品のシルキーフリースや裏起毛のトップスなど、冬物季節商品が好調でした。

(店舗) ・1月度の新規出店: 0店 ・1月度の閉店: 0店 ・1月度の改装リニューアルオープン: 1店
当月より「トライアル西友」(西友からの業態転換店)は、西友の店舗として集計する方法に変更しております。従いまして、業態転換による西友の合計店舗数に増減はありません。
なお、前月まではトライアルの店舗への業態転換(トライアル店舗の増加、西友店舗の減少)として集計しておりました。

※ 売上高の前年同月比はPOSデータに基づいた速報値であり、決算数値と異なる可能性があります。
※ 概況コメント欄の天候は、トライアルの店舗が多く所在する福岡県を中心に記載しております。
※ 「グロスリー」は菓子類などの加工食品、「デイリー」は卵や乳製品などの日配品、「フレッシュ」は生鮮四品(青果・精肉・鮮魚・惣菜)、「生活」は日用消耗品などの家庭用品、
「ハード」は家電製品などの耐久性商品、「アパレル」は衣料品を示しております。
※ 西友の既存店及び全店売上高の前年同月比は、2026年7月度(2027年6月期)から開示予定です。